発行日　2021/3/1

議　事　録

件名　ファッションビジネス科　教育編成委員会ミーティング　管理No　6

日　時	2021年3月
場　所	
出　席　者	株式会社アズノウアズ　人事･総務部マネージャー　中村　潤様 株式会社ステップス　常務取締役 採用教育部長　塚田龍一様 有限会社ビーシーコスチューム　代表取締役　太田えりこ様 株式会社クレヨン　営業本部人事部マネージャー　山田 雄祐様 ソーイングアサヒ株式会社　代表取締役　髙橋英一朗様 一般社団法人　日本アパレル･ファッション産業協会　境泰志様 東京服飾専門学校 山下節子　吉岡文子　伏見幸恵　大滝秀一　古賀由紀夫 梨本雅子　福嶋哲平　中島由紀子　荒井光
欠　席　者	
概　要	1.次年度における各科カリキュラム、シラバスの配布と編成経緯、変更点、留意点について。 2.次年度における産学連携、職業実践体験プログラムの実施内容調整
内容	コロナ感染症の蔓延防止の為、委員会を文章による意見交換するものとした。 ① ･教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上へのご意見をお願い。 ･第6回 教育編成委員会の目的と議事項目 ②産学連携授業の実施結果 コロナ感染症の広がりにより、展示会などでの学生研修の機会が大きく減少し、校外での実戦経験、実践教育の機会が失われた。 一方で、オンラインなどを活用した産学連携授業については、昨年以上に実施ができたことによって知識と技術の習得に不足や遅れは生じなかったと考えられる。 ③今後の展望や問題点、課題 令和2年度のファッションビジネス科の学生評価においては、上記産学連携授業による商品企画が、実際の商品として店頭で流通する成果を得ることが出来た。 また、令和3年度からは新しく企業の現場担当者が行う科目がスタートし、実務や就職に向けたトータルでの人格形成がはかれるものと考えている。 ④令和2年度の修学成果 業界にとって、コロナ感染症対策によるところの変化が大きく、本学では3月からオンライン授業の実施に向けた機材や環境整備により「学びを止めない」ことができた。また徹底した感染対策を行い、オンラインに重点を置いただけではなく、対面授業の実施と併用を進めて、いつでも変更できるような時間割のシフトを複数パターン用意して状況に即対応した。結果として夏休みの縮小、秋休みの中止によって修学時間も例年とほぼ同じ時間数を行うことが出来た。 学生の就職においては、営業自粛などから経済的な後退が見られ、求人数が大きく減少したことにより、内定率については過去最低となった。本学においては、就職未決定者へのフォローを引き続き行うことが決定しており、卒業後も登校形態で、業界研究や就職活動のサポートを行うこととしている。

添　付　資　料	授業シラバス、就職進路資料など
決　定　事　項	
課　題　事　項	
次　回　日　程	2021.8
特　記　事　項	

	作成者
	吉岡